



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.6

2011.8.10 (No.2650)

第2560地区ガバナー／石本 隆太郎  
 会 長／山田 富義  
 会長エレクト／杉山 幸英 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／丸山 行彦 (クラブ奉仕B)  
 幹 事／小出子 恵出  
 S A A／伊藤 寛一  
 会 計／明田川 賢一

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:53名中42名  
 ■先々週出席率:76.92%

【ゲスト】

- ・国際ロータリー第2560地区ガバナー  
石本隆太郎 様
- ・国第4分区アシスタントガバナー  
山田文雄 様

【ヴィジター】

- 三条ローターアクトクラブより
- ・会長 齋藤智子さん
  - ・幹事 赤坂広太郎さん
- 米山奨学生  
 ジャック・ティオ・ヨー・チオ君

【先週のメークアップ】

- [8.4] 三条東RCへ
- ・菊池 渉さん、佐藤純二さん
  - ・中村和彦さん



Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2010～2012年度国際ロータリーのテーマ



荻根澤隆雄 会員より

## 会長挨拶

山田富義 会長



皆さん、こんにちは。

連日、暑い日が続いていますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

東北電力管内では、3月11日の東日本大震災で太平洋側の原子力発電所・火力発電所が被害を受けました。最近では7月29日の新潟・福島豪雨により、水力発電所29ヶ所が被害を受け停止中で、電力供給量が逼迫し、東京電力から融通してもらいしのいでいます。気温30度を超え、1度上昇すると30万kwの電力が消費されると言われています。2度で60万kw、33度以上で原子力発電所1基に成ります。冷房用の電力は約30%です。エアコン付けてテレビばかり見て居ますと節電になりません。市役所・図書館・公民館などの公共施設へ出向いてみてはどうでしょうか。空調の設定温度は28度から29度でそこそこ快適です。

本日は国際ロータリー第2560地区ガバナー、新潟ロータリークラブ石本隆太郎様、第4分区アシスタントガバナー、見附ロータリークラブ山田文雄様をお迎えして、石本ガバナーの公式訪問でございます。

お二人様には忙しい中、そして猛暑にも関わらず三条ロータリークラブにようこそおいでくださいました。心より歓迎申し上げます。

又、三条ローターアクトクラブ会長 齋藤智子さん、幹事 赤坂広太郎君、米山奨学生 ジャック・ティオ・ヨー・チオ君、

ごゆっくりお過ごし下さい。新入会員の木村文夫三条商工会議所専務理事が出席されています。後程紹介させていただきます。

今年度のRI会長 カルヤン・バネルジー氏のテーマは『こころの中を 見つめよう 博愛を広げるために』です。

2560地区 石本ガバナーのテーマは『自らの足元を見直そう過去～現在～そして未来へ』です。

石本ガバナー基本方針

ロータリーの新たな出発に向けて

ロータリー歴が20年以上の方は目をつぶって新入会員の頃を思い浮かべて下さい。

1. 20年前と比べて会員数は減っていませんか？
2. 会員の平均年齢は上がっていませんか？
3. 会員の出席率は下がっていませんか？

もし、どの項目も「YES」であったならば、皆さんのクラブは危機的状況にあると述べられています。

私が20年前、三条クラブに入会させて頂いた頃は、会員数76名、出席率91.92%、平均年齢は56.7歳でした。

昨年度は会員数53名(23名減)、出席率80.87%(11.05%減)、平均年齢62.77歳(6.07歳増)で、まさに三条クラブの現状であり危機的状況にあるのかもしれない。今年度、会員増強の目標は、3名純増と出席率向上について、先日会員増強委員と方策を協議した所です。三条クラブは、今年度創立55周年でございます。60周年に向けて折り返し点です。会員全員でクラブの発展のため、会員増強、出席率向上に取り組んで行きたいと思っております。御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

先程、会長・幹事・会長エレクト・副幹事、それからローターアクトクラブの会長・幹事と共に石本ガバナー・山田AGと約1時間に渡り懇談会が有りました。大変有意義な御意見、御指導を頂き感謝申し上げます。

今後、三条クラブ発展のため頑張っていきたいと思っております。

私の挨拶の後、石本ガバナーの講話。休憩後、クラブ協議会、記念写真撮影後解散となります。

最後に石本ガバナー、多忙の日々が続くと思っておりますが、体調には十分気を付けて頂き、御活躍を御期待申し上げます。

## 幹事報告

小出子恵出 幹事

◎加茂RCより

「集中豪雨お見舞い」のFAXが届いております。

◎三条イーストライオンズクラブより

「認証状伝達式のご案内」

日時 9月28日(水) 16:30～

会場 ハミングプラザVIP

※山田会長 出席

## ニコニコBOX

山田文雄様

石本ガバナー公式訪問、大歓迎申し上げます。

斎藤弘文さん

三条夏まつりが成功に終わりました。ありがとうございました。

樺山 仁さん

石本隆太郎ガバナー公式訪問、誠にありがとうございます。よろしく御指導お願い致します。

本日の日本文理高校、誠に残念でした。次回に期待しております。

北山裕文さん

先週は私の為にバースデーソングありがとうございました。3日後のお盆に誕生日を迎えます。今年も暑い誕生日になりそうです。

石本ガバナー、本日はありがとうございます。

小出子恵出さん、熊倉昌平さん、若槻八十彦さん  
野水文治さん、成田秀雄さん、近藤雄介さん  
渡辺良一さん、平原信行さん、高橋 司さん  
五十嵐昭一さん、佐野勝榮さん、小林敬典さん  
熊倉博之さん、歸山 肇さん、中村光一さん  
金子俊郎さん、外山雅也さん、荻根澤隆雄さん  
佐藤純二さん、斎藤弘文さん、杉山幸英さん  
明田川賢一さん、丸山行彦さん、木村文夫さん  
小越憲泰さん、中村和彦さん、野崎喜一郎さん  
加藤紋次郎さん、石橋育於さん、会田二郎さん  
五十嵐浩さん、渋谷健一さん、捧賢一さん  
五十嵐晋三さん、渡辺勝利さん、船越正夫さん  
伊藤寛一さん、西山徳芳さん、松永一義さん、

石本ガバナー、山田アシスタントガバナー

心より歓迎申し上げます。

8月10日分 ￥46,000

今年度累計 ￥206,000



米山奨学生  
ジャック・ティオ・ヨー・チオ君へ  
奨学金の授与

# 石本ガバナー公式訪問「講話」

第2560地区ガバナー

石本隆太郎 様



## 自己紹介

みなさんこんにちは！

ご紹介いただきました、7月1日より2560地区ガバナーに就任いたしました、新潟ロータリークラブの石本でございます。

7月下旬の記録的な集中豪雨で、三条地区においても大きな被害を出されたとのことで、心からお見舞い申し上げます。

7月19日の長岡RCを皮切りに、長岡西RC、高田RC、三条北RC、三条東RC、中条胎内RCに続いて7度目の公式訪問でお邪魔させていただきました。

当クラブは、1986～87年度に藤田説量ガバナーを輩出された老舗クラブでありますし、7代目会長の長谷川一雄は私の母方の伯父で、会員にもお知り合いの方が多くおられます。

緊張を解きほぐす意味で、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私の経歴、及びロータリー歴につきましては、お手元の現況報告書に記載の通りですが、新潟市で建設専門工事業＝わかりやすく言えば、ゼネコンさんの下請けで、金属内装工事の会社を経営しており、新潟ロータリークラブに入会して、今年で丁度30年になります。

生まれは1942年（昭和17年）で、カルヤン・パネルジーRI会長と同年になります。

## 定款・細則の重要性

さて、本日、11時より一時間余りにわたり、山田会長はじめクラブの役員の方々と懇談をさせていただきました。

具体的内容については割愛させていただきますが、かなり厳しいことも申し上げました。これもガバナーの役目ですので、ご容赦願いたいと存じます。

去る3月19日のPETS、及び5月21日の地区協議会の基調講演の講師にお願いした田中 毅先生のご講演を聞かれた方はご記憶のことと思います。

田中先生は、【変えてならないもの】として「ロータリー哲学」即ち「ロータリーの奉仕の理念」を挙げられ、「それを分りやすく表わしたのが『クラブ定款』である。」と述べられ、それから逸脱したら、もはやロータリーではなくなると警告されました。

【変えなければならないもの】として、「RI、地区、クラブの管理運営方法や、奉仕活動の実践」を挙げ

られ、「組織の管理運営を長年変更しないで放置しておく、必ず制度疲労を起こす。また、奉仕活動の実践は、地域のニーズの変化に従って柔軟に対応しなければ、何の意味もない。それを端的に示したのが『クラブ細則』であり、会長は年度の事業方針の羅針盤として、毎年、クラブ細則の見直しを行わねばならない。」と話されました。

定款は、3年毎にシカゴで開催される規定審議会で、大きな変更事項があった場合、改定が必要になります。一方、細則は「毎年、見直しが必要」と教えられ、私もビックリしましたが、当地区で、そこまで実行しているクラブは、これまでほとんど無かったと思います。

ところが当地区内には、クラブ規模の大小やクラブの歴史に全く関係なく、現況報告書にクラブ定款・細則の一部だけを抜粋しただけで、「国際ロータリーの標準定款・細則と同じ。」と記載したクラブが多いのです。おそらく半数以上のクラブが全文記載していません。

幸い、当クラブは、「2010年版・手続要覧」に基づき、全文掲載されておりましたが、クラブ細則が「抜粋」でありましたので、先ほどの役員懇談会で、何点か指摘させていただきました。

「細則」はクラブの独自性がある程度認められておりますが、うっかりすると、「定款」に合致しない部分を見落とす場合がありますので、手続要覧にある「推奨・クラブ細則」であるとか、同規模クラスの他クラブの細則を参考にされたらよいと申し上げました。

特に、2010年の手続要覧から、「直前会長」が「役員」として明記されたことにより、理事会構成員の「役員」と「理事」の人数に注意を払う必要があります。

細則変更は、「会員総数の3分の1の定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。」と手続要覧にあり、簡単にできます。

例会開催日や開催時間、入会金や年会費等も細則変更によりいつでも変更可能ですから、会長方針により、時代の変化や、地域ニーズに対応した運営方針・組織編制の見直しを、思い切っておやりになればよいと思います。

いずれのクラブにも、伝統や前例踏襲を重んじる風潮があり、改革には反対意見が多いかもしれませんが、過去のしがらみや既成概念を打破していかなければ、クラブの活性化は“夢のまた夢！”となるのではないのでしょうか。

## 今年度の地区運営方針と会員増強

PETS、地区協議会に於いて、私の今年度の地区運営の基本方針を述べさせていただき、現況報告書にも掲載させていただきましたが、今まさに、時代は大きく転換しております。

さらに、3月11日の東日本を襲った大震災は、その後の福島原発の放射能汚染問題とも重なり、今後の日本経済、とりわけ地方経済に、どれくらいの期間、どれだけの悪影響をもたらすのか、全く見当もつきません。

去る7月16日に開催の「第2560地区・会員増強セミナー」には、当クラブからも荻根澤会員増強委員長からご出席いただきましたが、地区内57クラブを会員規模順に並び替えた過去20年間にわたるクラブの会員純増数を比較した「健康診断書」を中心に、約1時間にわたり基調講演をさせていただきました。

過去20年間で、最多会員数を維持しているクラブは、新発田中央RCの1クラブだけで、あとは規模の大小を問わず、多かれ少なかれ会員減少に悩んでおります。

当クラブも、ピーク時には80名を数えた時期もありましたが、現在52名と3割以上、会員を減らしております。

会員減少は、老舗クラブの一部に際立っており、新潟クラブもピーク時の140名から、4割以上会員を減らして、80名前後で推移しております。

しかし、地区として問題なのは会員数20名前後のクラブで、そのほとんどがピーク時の会員数の50%を下回っており、さらに深刻なのは、会員数10名以下のクラブです。

会員はピーク時の20%以下となり、出席率は50%台というクラブもあり、今回の地区会員増強セミナーも、4クラブが欠席でした。

私は、セミナーの中で、「会員増強は生活習慣病の治療と同じで、誰にも効く特効薬や、万能薬は無く、自分から直そうという気がなければ、絶対に成果は上がらない。」

まして、「“医者にかかるのもいや！”という患者＝クラブには、明るい未来展望など描けるはずがない」と、大変厳しいことを申し上げました。

当クラブは、現在50名台の大規模クラブに入っておりますが、油断をいたしますと、中規模クラブに転落いたします。

また、会員増強と例会出席率は密接不可分の関係にあり、当クラブもそうですが、バブル崩壊後、出席率の低下が目立ってきているクラブが多いのも事実です。

例会を楽しく内容あるものとし、例会出席率が高まれば会員増強にもつながるといふ、好循環を維持しながら、次なる60周年に向けて、全会員が会員増強に真剣に取り組み、会員60名台から、さらには会員70名台を目指していただきたいと願いたします。

## RI会長の今年度テーマ

予定した時間も残り少なくなってまいりました。ここで、「地区における唯一のRI役員」として、今年度のカルヤン・パネルジーRI会長の年度テーマについて触れてみます。

パネルジー会長の「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」という年度テーマについては、PETS、地区協議会でも説明させていただき、現況報告書にも掲載されております。また「ロータリーの友=7月号」にもピノタ夫人と共に、その人となり写真と共に詳しく掲載されておりますので、ぜひお読みいただきたいと思ひます。

クリンギンスミス直前会長に比べて、かなり派手目のロゴマークについて説明させていただきますが、「一番上の太陽のように見える赤い丸は「博愛」をイメージし、その下の赤と黄色で形どられているのがハート(心)に見えるでしょうか？それを中段の腕が抱きしめるようにして、自らの心の中を見つめながら、一番下段の大きなロータリーマークで繋がれた腕で、人類全体を表現しているとのことでありませう。

パネルジー会長は、「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない。」というマハトマ・ガンジーの言葉を引用しながら、新年度の強調事項として、第一に「家族」をあげられました。

1月の国際協議会で、初めてこれを聞いた時は、会長がインド出身だからと単純に考えておりましたが、3月11日の東北大震災で、安全な家や食べ物、飲む水はおろか、家族まで失った人々の悲惨な状況を目の当たりにして、それまで“日本は例外！”などとおごり高ぶっていたことを痛切に反省させられました。

パネルジー会長は、強調事項の第二に、「継続」をあげておられます。つまり、これまでロータリーが得意としてきたこと。きれいで安全な水の確保や、識字率の向上、とりわけ「ポリオの撲滅」等々を、さらなる努力で継続してほしいということです。

第三の強調事項は、「変化」です。私は、個人的には、日本のロータリーが他の先進国に比べ大幅に会員数を減らしているのは、これまで継続してきた様々な

事業が、現在の日本の実情にそぐわなくなっているからではないか？との思いを強くしておりました。

大きく変化しているこの現実をきっちりと認識し、“我々がなすべきことは何なのか！”を一日も早く見出す必要があると思い、地区運営の基本方針を「自らの足元を見直そう」として、「7つのお願い」を皆様にご提案いたしました。

変化に対応できなかった恐竜やマンモスが滅びたように、もし自分たちのクラブの活性化、生き残りを願うなら、既成概念を打破し、勇気をもって、これまでの習慣や条件を変えていくことが必要と考えます。ご静聴いただきましてありがとうございました。



第4分区アシスタントガバナー  
山田文雄 様

長時間にわたりご協力ありがとうございました。

現況報告書について、石本ガバナーより丁寧にご回答いただきました。

山田会長は、「明るく、楽しく、元気よく」クラブ運営をしておられるということがわかりました。各委員長さんが作られた計画を、一つ一つ行動してもらうことでロータリー活動が出来上がってくると思います。

来年5月には国際大会がタイ・バンコクで開催されます。

2012-13年度RI会長に栃尾出身の田中作次さんが就任されますので、大勢の日本人が参加されることが見込まれます。5月8日出発予定で計画していますので、ご夫人も同伴で参加していただければ幸いです。





## <新会員紹介>



氏 名 木村 文夫  
会 社 名 三条商工会議所  
役 職 名 専務理事  
住 所 三条市須頃1-20  
家族構成 妻、二女  
趣 味 旅行、ドライブ

次週例会 8月31日 外部卓話 「放射線について」  
菅川澄子様

次々週例会 9月7日 夜例会 18:30~ 於 越前屋ホテル

